

動作条件	保存温度範囲 (未開封)	-10℃ ~ +60℃ (25~75%RH) Δ	保存温度範囲 (実装後非動作時)	-40℃ ~ +85℃ (85%RH MAX) 氷結、結露なきこと
	使用温度範囲 (動作時)	-10℃ ~ +60℃ (85%RH MAX) 氷結、結露なきこと	特性インピーダンス	差動 100Ω
	入力信号IF	SLVS-200	Activate電圧	1.0~3.6V
	入力信号電圧	差動電圧 200-1400mV、 コモン電圧 150-340mV		
	電源電圧	1電源モード : (Tx/Rx) 3.3V 2電源モード : (Tx)2.5V、(Rx)2.5V および1.5V		
	適合コネクタ	送信側 (Tx) : BF4-TX-14DS-0.5V、 受信側 (Rx) : BF4-RX-14DS-0.5V		

**性 能**

	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外觀,構造,仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する	図面と合致していること	○	○
	表示	目視にて確認する		○	○
電 氣 的 特 性	信号伝送速度	差動電圧 200mV、PRBS7 の信号を入力し 出力信号をアイパターンにて測定する	0.05Gbps~6.25Gbpsで規定のマスクに ヒットなきこと	○	-
	符号誤り率(BER)	差動電圧200mV、PRBS7の信号を入力し、 出力信号をBERTで測定する	6.25Gbps伝送時 1×10 <sup>-12</sup> 以下	○	-
	高速伝送確認	差動電圧 200mV、PRBS7 の信号を入力し、 出力信号をアイパターンにて測定する (VDD=3.3V、1電源モード)	6.25Gbps PRBS7信号伝送時に規定の マスクにヒットなきこと	○	○
	入力信号電圧	差動電圧200mV,1400mVの信号を入力し、 出力信号をアイパターンで確認する。 (VDD=3.3V、1電源モード)	6.25Gbps PRBS7信号伝送時に規定の マスクにヒットなきこと	○	-
	出力信号電圧	信号伝送時の受信側での信号出力電圧を測定する (VDD=3.3V、1電源モード)	差動電圧160-330mV コモン電圧180-330mV Δ	○	○
	SD電圧	SD-GND間の電圧を測定する (VDD=3.3V、1電源モード)	1.0V~1.6V	○	○
	消費電力 (送受合計)	デジタルマルチメータにて電流・電圧値を測定し、 消費電力を確認する	【1電源モード(VDD=3.3V、OL=open時)】 信号伝送時:120mW以下 スリープモード時:25uW以下 【2電源モード】 信号伝送時:80mW以下 スリープモード時:25uW以下	○	-
機 械 的 性 能	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う	機能、動作性能に影響する破損なきこと (外觀確認、信号伝送確認)	○	-
	耐振性	周波数 10~55 Hz, 片振幅 0.75 mmで 3方向 各10サイクル試験する		○	-
	耐衝撃性	加速度 490m/s <sup>2</sup> , 持続時間11ms, 正弦半波 3軸両方向 各3回試験する		○	-
	ファイバ固定力	両端プラグを固定し、軸方向に10mm/minで ファイバ固定部が破損するまで引っ張る		7N以上	○
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -40℃⇔85℃、時間 10分⇔10 分を 無通電状態で100サイクル試験する	機能、動作性能に影響する破損なきこと (外觀確認、信号伝送確認)	○	-
	耐熱性	温度 85℃、無通電状態で1000時間放置する		○	-
	耐寒性	温度-40℃、無通電状態で1000時間放置する		○	-
	温湿度サイクル	-10~+65℃、24h/1サイクルの温湿度条件で 10サイクル無通電状態で試験を行う		○	-
	ESD耐性	HBM (EIAJ) サンプル印加電圧 2kV		○	-

△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
1 2	DIS-K-00002328	SJ. SUZUKI	TS. YAMAZAKI	20200317

備考 上表の「電気的性能」「機械的性能」「環境的性能」の各項目は、評価基板上に実装された適合コネクタに嵌合して確認した性能を表す。	承認	MT. SHIBUTANI	20150421
	検 図	OM. MIYAMOTO	20150421
	担 当	YA. SAN0	20150421
	製 図	YA. SAN0	20150421

注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目	図番	SLC-179522-00-00		
<b>HRS</b>	製品規格表	製品名	BF4MC-6GTXX-B1-***M	
	ヒロセ電機株式会社	製品コード		1/1